

事業所名

社会福祉法人イリアンソスこのみ

支援プログラム

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念	1982年9月の創立。「障害のある人たちとその家族が地域でより豊かに暮らすことができるように」という思いから、主に家庭を側面から援助する活動を行ってきました。その中で「放課後や休みの日にこどもたちの遊び相手をしてほしい」という要望の応えて、遊びの活動が始まりました。そして活動を続けるうちにこどもの人数も増え、また内容も充実したものにしていきたいと考えるようになりました。そこで、1人ひとりのこどもに合わせた遊びの内容を考えたり、集団での遊びの場を設定するなど、様々な試みをするようになりました。これらの活動を「ひまわり」と名づけ、ひとつの事業にまとめることになりました。その後、「ひまわり」を事業の柱として「障害のある人々と共に生きる地域づくりを目指す」という設立当初のモットーを大切に引き継ぎながら現在「放課後デイサービスこのみ」として活動をしています。											
支援方針	障害があっても地域の中で「生き生き」と育っていくために、遊びを通して様々な活動を行います。一人で遊ぶ、みんなと遊ぶ、遊びを通して自分の思いをしっかりと人に伝えられる力をつけていきます。											
営業時間	13 (10)	時	30 (00)	分から	17 (16)	時	30 (00)	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	長期休暇時には食育活動として様々な昼食をこども達自身も作り「食」に興味を持てるような活動を提供していく。食事の楽しさを感じるように「おやつを提供」を実施する。学校から制服で通所してくるこども達には着脱とたたみ方の練習を実施する。個人の発達に合った支援を実施する。										
	運動・感覚	活動に音楽を取り入れたり（楽器に触れてみて自分なりに弾いてみたり）して音楽に興味や心の癒しを体験できるように支援を実施する。近隣の公園にてサーキットを実施して楽しみながら運動ができる環境設定を実施する。施設内に常備してある玩具（エアーマット・ロッキングボール）を用いて体感などを感じる遊びを行う。										
	認知・行動	地域に出掛けて簡単なルールを学んだり、公園でお花などを触ったりする活動支援を実施する。始まりの挨拶、終わりの挨拶を行うことで自分の気持ち、考えなどを伝える場面の提供を実施する。										
	言語 コミュニケーション	活動の中で言語を使った遊び（伝言ゲームなど）を実施する。その中で自然と自分のことなどを相手に伝えることができるような環境設定を実施する。										
	人間関係 社会性	ルールのある遊びを実施することで他の友達のことを意識できるような環境設定を行う。活動で買い物などに出掛け「選ぶ」「計算」などの一連の流れを体験する場を提供する。										
家族支援	相談支援事業所などと連携し地域福祉資源などの利用の必要性を確認と提案。定期適な面談を実施。関係機関との連携。					移行支援			地域生活の場との情報の共有。就労・環境変化に向けての課題とそのことに伴う支援方法の確認。			
地域支援・地域連携	他の放課後デイサービス事業所との交流と情報共有、放課後デイ部会への参加。					職員の質の向上			職員研修、職員法人全体研修、資格取得研修			
主な行事等	季節の行事、近隣の公園散策、作品展（9月）、ハロウィンパレード（10月）、にぎやかカーニバル（12月）											